



Multi Dynamic Heater

デロンギ
マルチダイナミックヒーター Wi-Fi モデル

MDHAA15WIFI

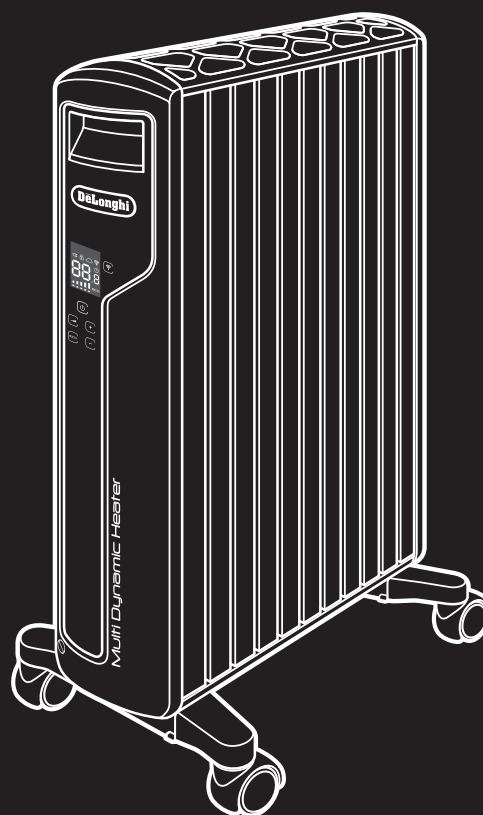
MDHAA12WIFI

MDHAA09WIFI

取扱説明書 (保証書付)

※本体の型式番号「MDHAA15WIFI」「MDHAA12WIFI」「MDHAA09WIFI」の後に続く
ハイフンおよびアルファベットは、色番号を表すものです。

家庭用



※本書のイラストは MDHAA15WIFI を使用しています。

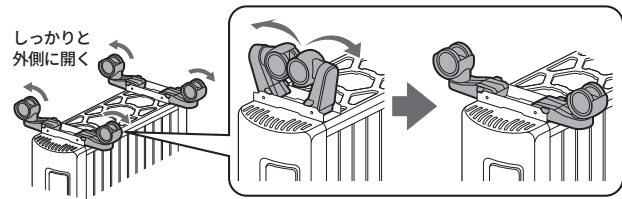
この度は、
デロンギ マルチダイナミックヒーター Wi-Fiモデルをお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本製品を正しく安全にお使いいただくために、
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

折りたたみ式キャスターの開き方

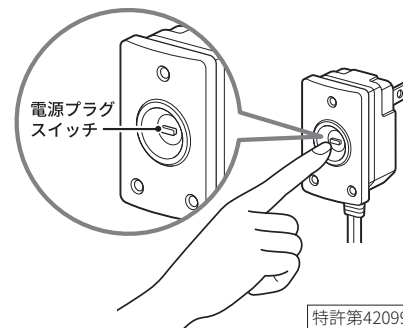
※設置前に必ず折りたたみ式キャスターを開いてください。

- ① 本機の底面が上になるように立てる
- ② すべてのキャスターをしっかりと外側に開く
- ③ 本機をゆっくり起こす



安全プラグの確認

ご使用になる際に、電源プラグをコンセントに差し込んでもディスプレイの通電表示が表示せず、ヒーターも暖かにならない場合は、電源プラグスイッチをカチッと音がするまでしっかりと押し込んでから、本製品をお使いください。



特許第4209907号取得

知っておいていただきたいこと：ブレーカーについて

ブレーカー（分電盤内にある回路遮断器）は、その回路で電気を使い過ぎた時や何らかの原因で瞬時に大電流が流れた場合に自動的に電気を断ち、回路を守ります。**契約電力が不足している場合や、足りていても、その回路の容量を超えて複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働き(=落ち)ます。**

※契約電力が不足している場合には、電力会社に増量を依頼してください。

もくじ

基本操作編

安全上のご注意	4
各部の名称とはたらき	6
マルチダイナミックヒーターについて	8
効果的な使いかた	8
●運転電力レベル自動調整のしくみ	9
暖房運転の基本操作	10
●電力レベルの設定と消費電力	11
●電力レベル設定を変更する	11
便利な機能	12
●エコ運転	12
●チャイルドロック	12
●液晶の明るさ設定	12
●凍結防止機能	12

基本操作編

応用操作編

リモート操作する	13
●専用アプリを利用してできること	13
●初期接続をする	14
●使用上のご注意	15
●安全上のご注意	17

応用操作編

その他

故障かな？	18
●ディスプレイのエラー表示	19
お手入れ／保管のしかた	20
●お手入れ	20
●保管のしかた	20
電源プラグ・コード、コンセントの定期点検	21
●電源プラグ・コード、コンセントの安全チェックシート	21
仕様	23
アフターサービス	24
保証書	27

その他

- ・本書に記載の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。
- ・本書のイラストは説明用のものであり、実際の製品と一部異なる場合があります。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

- ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。



警告

誤った取り扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取り扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)



必ずしなければいけないことを示します。



してはいけないことを示します。



警告



定格 15 A (100 V) のコンセントを単独で使用する

(火災、感電の原因)

※ ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しないでください。

※ 海外など異なる電源電圧の地域で使用しないでください。(日本国内専用)

電源プラグは根元までしっかり差し込む

(火災の原因)

電源プラグやコンセントのほこりは定期的に乾拭き掃除をする

(火災の原因)

※ 21 ページ「電源プラグ・コード、コンセントの定期点検」参照

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く

(火災、感電の原因)

異常、故障時には直ちに使用を中止する

(火災、感電、やけどの原因)

〈異常、故障例〉

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる
- 異常な音やにおいがする
- 本体に破損や変形がある
- 本体が転倒または落下し、損傷した

異常、故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。



本体や電源プラグ・コード、コンセントに水をかけたり、水に浸けたり、水洗いしたりしない

(火災、感電の原因)

誤って水をこぼしてしまった場合は直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。



濡れた手で本体を触ったり、電源プラグを抜き差ししない

(感電の原因)

動作中に電源プラグを抜き差ししない

(火災、感電の原因)

電源プラグ・コードを破損させない

(火災、感電の原因)

- 傷付けたり、加工したり、加熱したりしない
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない
- コードを引っ張って本体を移動させない

電源プラグ・コードに破損、変形などの異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社へ点検、交換を依頼してください。

電源コードをコードホルダーに巻き付けたまま使用しない

(火災の原因)

※ 余った電源コードは伸ばしたまま使用していただき。

収納の際、電源コードをコードホルダーに強く巻かない

(火災の原因)

※ 20 ページ「お手入れ／保管のしかた」参照

カーテン、ふとんなど燃えやすいものや、コンセントのすぐ近くで使用しない

(火災、やけど、けがの原因)

- 電源をとるコンセントのすぐ下で使用しない
- スプレー缶やカセットボンベを本体の近くに置かない

※ 8 ページ「設置場所についてのご注意」参照

分解、修理、改造をしない

(火災、感電、やけどの原因)

安全上のご注意（必ずお守りください）

警告



子供など取り扱いに不慣れな方、介助を必要とする方だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しない

（火災、感電、やけど、けがの原因）

※本製品は、安全に関する知識や経験が少ない方の使用は想定しておりません。お子様、乳幼児、取り扱いに不慣れな方が近くにいるときは、必ず操作できる大人が付き添ってください。また、子供が機器（電源コード含む）で遊ばないように監視してください。



穴、すき間、開口部に指やピン、針金などを差し込まない

（火災、感電、けがの原因）

※特に小さなお子様にはご注意ください。



覆い掛け
禁止

過熱を防ぐため、本体をふとんや衣類などで覆わない

（火災の原因）

●乾燥など他の用途で使用しない

注意



決められた設置方法に従う

（火災、感電、やけど、けがの原因）

●壁や電源をとるコンセント、カーテンなどから20 cm以上離す

●人や家具などからは1 m以上離す

●毛足の長いじゅうたんや凸凹のある床は避けて、平らな場所に置く

※テーブルや机の下で使用しないでください。

※8ページ「設置場所についてのご注意」参照

お手入れや保管、本体の移動は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行う

（感電、けが、やけどの原因）

●取っ手を持ちゆっくりと移動させる

※階段や段差を移動させるときは、必ず手袋などで手を保護し、本体底部を持って移動させてください。

長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く

（火災の原因）



他の用途で使用しない

（火災、感電、けがの原因）

火気の近くや直射日光が長時間あたる場所で使用しない

（火災、感電の原因）

●熱源の近くで使用しない

水、湿気の多い場所で使用しない

（火災、感電の原因）

●屋外や浴室など、水や湿気の多い場所で使用しない

●シャワーやプールの周辺で使用しない

●硫化ガスが発生する場所（温泉地の脱衣所など）や塩害のおそれのある場所で使用しない

電源の入切をするための部品（タイマーなど）やその他の製品、部品を組み合わせ使用しない

（火災、感電の原因）

本体の上に乗ったり、寄りかかったりしない

（けがの原因）

※特に小さなお子様にはご注意ください。

運転中および運転停止後しばらくは、本体に触れない

（やけどの原因）

犬や猫などのペットの暖房に使わない

（火災の原因）

Wi-Fi機能(リモート操作)使用時について



Wi-Fi機能を使用する場合、心臓ペースメーカーを装着している人は、心臓ペースメーカーの装着部位から本機を15cm以上離す

※本機からの電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

リモート操作は、17ページ「安全上のご注意」に従う



Wi-Fi機能は、病院など無線機能の使用が禁止されている場所で使用しない

※本機からの電波が医療用電気機器に影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

各部の名称とはたらき

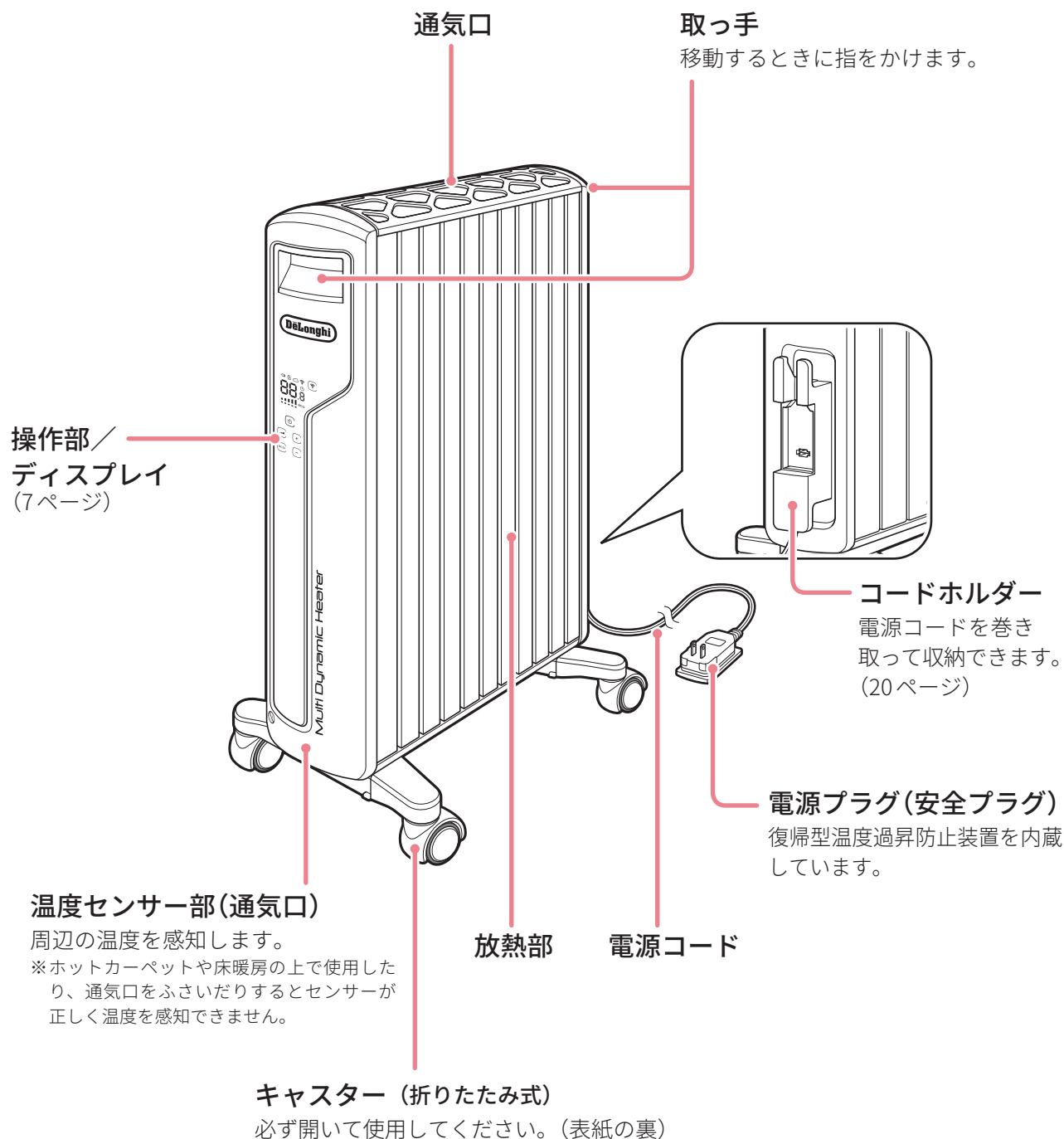
本体



ご使用前に各部の輸送用の粘着テープやシールを必ず外してください。

基本操作編

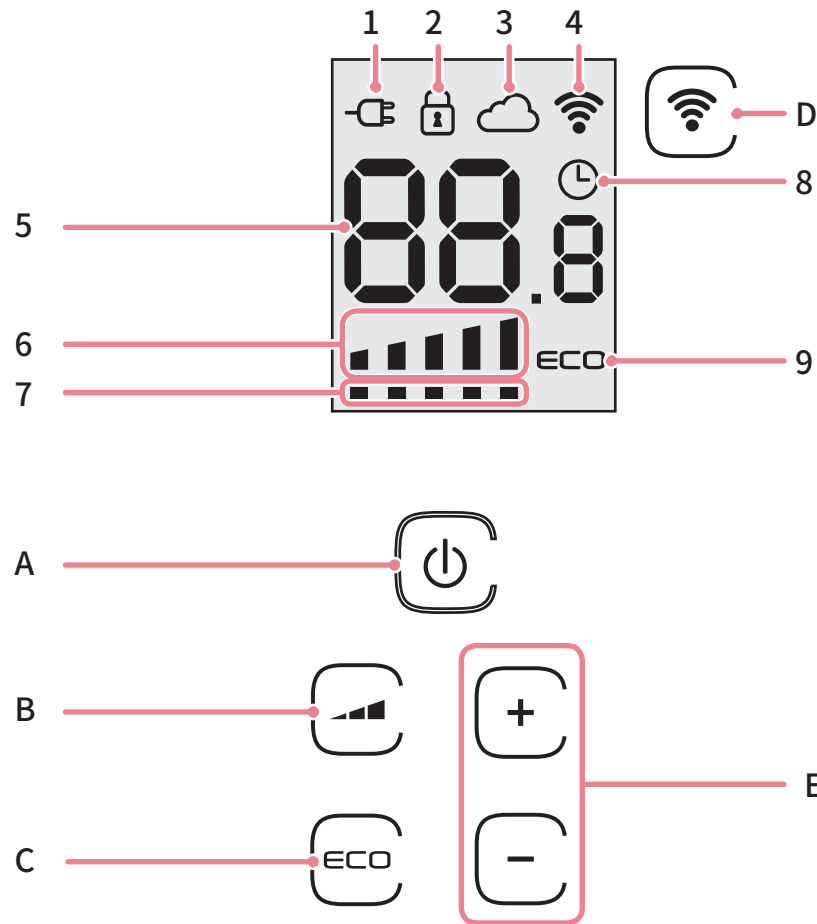
各部の名称とはたらき



各部の名称とはたらき

操作部／ディスプレイ

 ご使用の前にディスプレイの保護シールを必ずはがしてください。



基本操作編

各部の名称とはたらき

ディスプレイ

番号	名称	説明	番号	名称	説明
1	通電	電源プラグをコンセントに差し込んでいるときに表示されます。	5	設定温度	設定した温度が表示されます。
2	チャイルドロック	チャイルドロックが設定されているときに表示されます。(12 ページ)	6	電力レベル設定	設定した電力レベルが表示されます。(11 ページ)
3	リモート操作	専用のアプリを利用して端末から操作したときに表示されます。本体で操作すると表示が消えます。	7	運転電力レベル	運転中の電力レベルが表示されます。表示されていない場合は暖房休止中です。※アプリ上では%で表示されます。(11 ページ)
4	Wi-Fi	Wi-Fi の接続状態が表示されます。 点灯 : Wi-Fi に接続しているとき 点滅 : Wi-Fi を検索しているとき 消灯 : Wi-Fi 機能がオフのとき	8	タイマー	タイマー運転中に表示されます。タイマー運転は、端末から操作します。本体では操作できません。
			9	エコ	エコ運転中に表示されます。

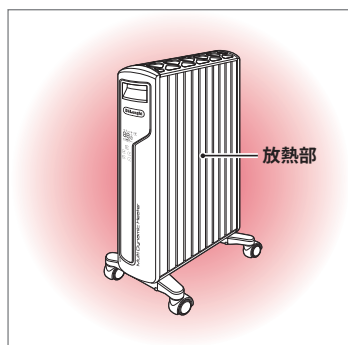
ボタン

記号	名称	説明	記号	名称	説明
A	電源	電源をオン／オフします。	D	Wi-Fi	Wi-Fi 機能のオン／オフを切り替えます。また、Wi-Fi 設定を初期化することもできます。 ・Wi-Fi 機能のオン／オフを切り替える：操作音が鳴るまで約3秒間タッチし続けます。 ・Wi-Fi 設定を初期化する：操作音が鳴るまで約15秒間タッチし続けます。
B	電力レベル	電力レベル設定を切り替えます。			
C	エコ	エコ運転をオン／オフします。			
			E	+ / -	設定温度を変更するときなどに使用します。

マルチダイナミックヒーターについて

暖房のしくみ

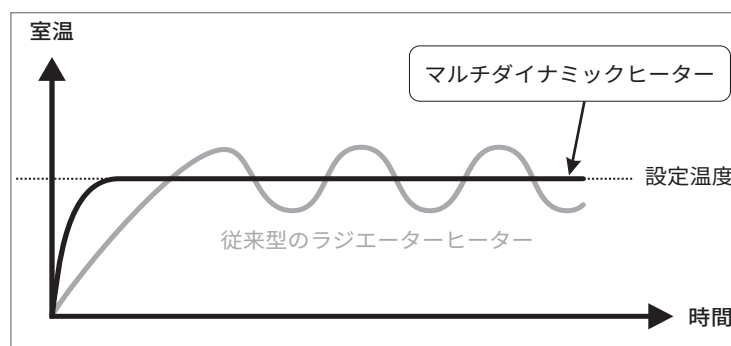
細やかなパワーの切り替えを可能にするモジュールを搭載し、放熱部からの輻射熱と自然対流で室内をおだやかに暖めます。



適温を保つ

Auto Adaptive Technology (AAT)

本機はAuto Adaptive Technology (AAT) により、室温と設定温度との差を計測して、運転電力レベルを自動調整します。室温を設定温度に近づけるために必要最低限の電力で運転するので、少ない消費電力量で長時間にわたって適温を保つことができます。

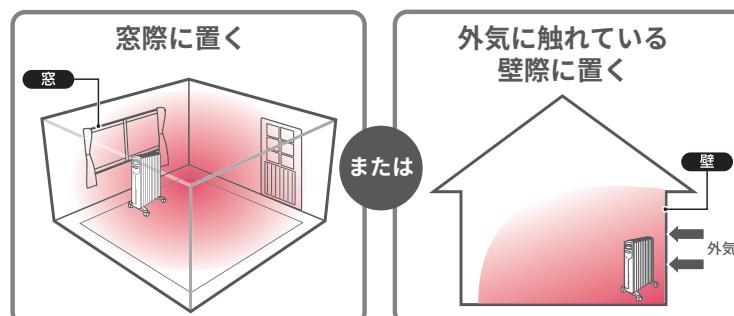


効果的な使いかた

設置場所の工夫で効果的な暖房を

ヒーターの熱が冷気の侵入をブロックすることで、お部屋の暖房効果が高まります。

お部屋の中でも屋外からの冷気に影響されやすい、次のような場所に置いてください。



⚠ 設置場所についてのご注意

壁や電源をとるコンセント、カーテンなどから20 cm 以上離す
※材質によっては、本体の熱で変色／変質するおそれがあります。

テーブルや机の下で使わない

※本体の上部は、燃えやすいものから1m以上の距離を取ってください。上部をふさぐと空気の対流ができないため高温になります。

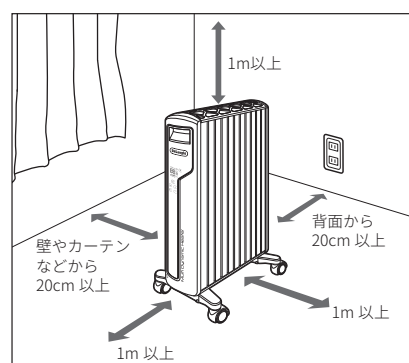
人や家具などからは1m以上離す

※寝室で使用するときは、寝起き時の転倒事故防止、寝具への接近を考慮して1m以上の距離を取ってください。

毛足の長いじゅうたんや凸凹のある床は避けて、平らな場所に置く

※本体が倒れるとけがの原因になります。

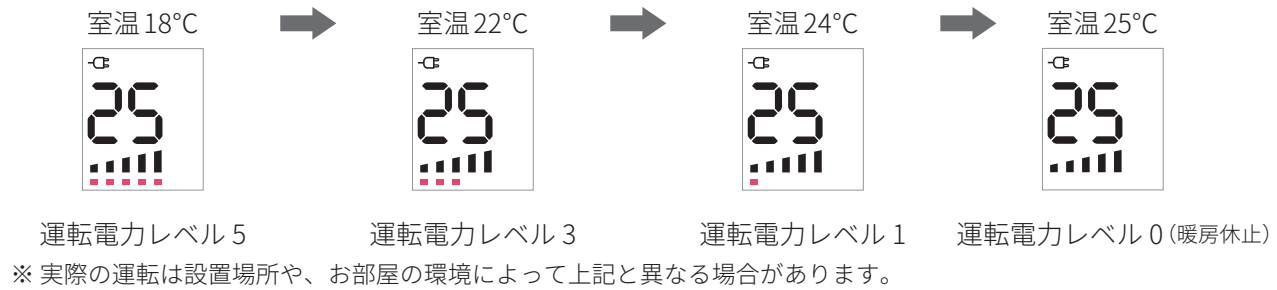
- ホットカーペットや床暖房の上で使用しないでください。温度センサーが正しく働きません。



運転電力レベル自動調整のしくみ

室温が低く設定温度との差が大きいときは、設定した最大電力レベルで暖房運転します。室温と設定温度との差が小さいときは、低い電力レベルでゆっくり運転します。室温が設定温度とほぼ等しくなると、暖房能力を小さくしたり、休止したりして無駄な電力消費を防ぎます。

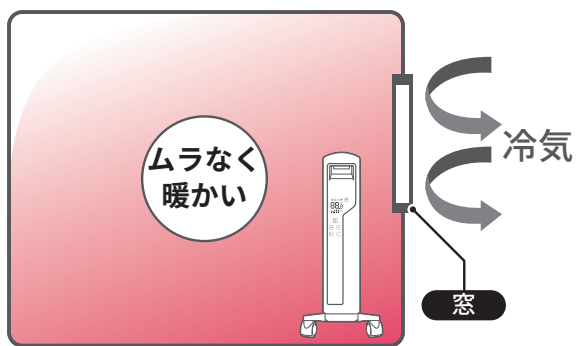
例) 設定温度 25℃、電力レベルの設定を「5」にして、室温 18℃で運転を開始した場合
(MDHAA15WIFI の場合)



- 本体天面や底面の通気口をふさがない
※特にキャスターの間に、ものを置かないようにしてください。

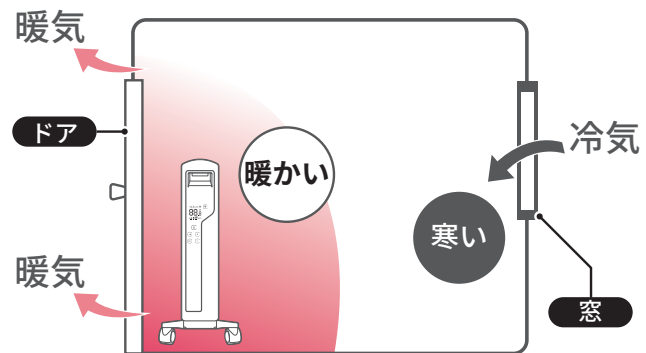
設置場所の良い例と悪い例

○ 良い例



- 窓際に置くとムラなく暖かい

× 悪い例



- 冷気が侵入し温度ムラがでやすい
- ドア付近に設置すると暖まった空気が室外に逃げやすい

■ その他の工夫

窓からの冷気の侵入を防いでお部屋の断熱性を高めると、さらに暖房効率が上がります。

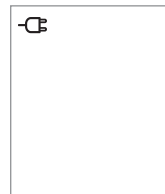
- 厚手で長めのカーテンを引く
- 窓に市販の断熱シートを貼る
- サッシに市販の断熱テープを貼る

暖房運転の基本操作

1 運転開始

① 電源プラグをコンセントに差し込む

- 全てのディスプレイが表示され、その後  が赤く表示されます。
- 電源プラグをコンセントに差し込んでも、ディスプレイの  が表示されない場合は、電源プラグスイッチを確認してください。(表紙の裏)



② を押して運転を開始する

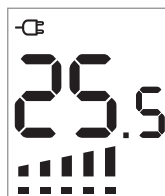
- ディスプレイに運転電力レベル、電力レベル設定および設定温度が表示されます。



2 暖房の設定

/ をタッチしてお好みの温度を設定する

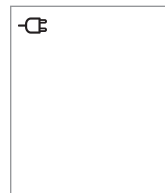
- 5°Cおよび10°C～28°Cの間で設定できます。
- 5°Cに設定すると、凍結防止機能がオンになります。(12ページ)



3 運転停止

を押して運転を停止する

- ディスプレイに  が赤く表示されます。



暖房運転の基本操作

電力レベルの設定と消費電力

本機の電力レベルの設定は、5段階（MDHAA15WIFI）、4段階（MDHAA12WIFI）、3段階（MDHAA09WIFI）に切り替えられます。設定した電力レベルによって消費電力（暖房能力）も以下のように切り替わります。通常は電力レベルを最大のままでお使いください。実際の運転電力レベルは室温と設定温度および電力レベル設定に合わせて最適なレベルに自動調整されます。（9ページ参照）上の  が電力レベル設定、下の  が実際の運転電力レベルを表わします。

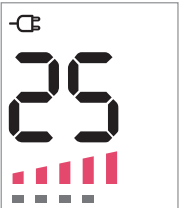
MDHAA09WIFI	MDHAA12WIFI	MDHAA15WIFI	電力レベルの設定	暖房能力(W)の目安(自動調整)	運転電力レベルの表示例	
			 (設定300W)	0 ～約300W	 最大300Wで動作のとき	
			 (設定600W)	0 ～約600W	 300Wで動作のとき	 最大600Wで動作のとき
			 (設定900W)	0 ～約900W	 600Wで動作のとき	 最大900Wで動作のとき
			 (設定1200W)	0 ～約1200W	 900Wで動作のとき	 最大1200Wで動作のとき
			 (設定1500W)	0 ～約1500W	 1200Wで動作のとき	 最大1500Wで動作のとき

電力レベル設定を変更する

暖房運転中に  ボタンを押す

● ボタンを押すたびに、電力レベル設定が以下のように切り替わります。

	ディスプレイの表示
MDHAA15WIFI	
MDHAA12WIFI	
MDHAA09WIFI	



(MDHAA15WIFIの場合)

便利な機能

エコ運転

運転中に  をタッチします。設定温度より自動的に0.5～2.0℃温度を下げて運転し、消費電力を抑えます。解除するには、再度  をタッチしてください。

※ディスプレイに **ECO** が表示されます。

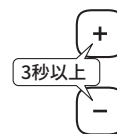
※凍結防止機能設定時はエコ運転は解除されます。



チャイルドロック

 と  を同時に3秒以上タッチし続けます。チャイルドロックを設定すると、運転停止させることはできますが、その他の操作ができなくなります。解除するには、設定時と同じ操作を行ってください。

※ディスプレイに  が表示されます。

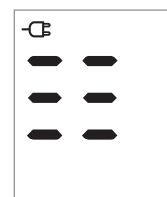


液晶の明るさ設定

待機時（操作していない間）の液晶の明るさは3段階に設定できます。各ボタン操作中は最大の明るさで表示されますが、操作後約10秒後に設定した明るさに戻ります。

設定を変更するには、運転停止中に  を5秒以上タッチし続けます。ディスプレイの表示が変わったら、 /  をタッチして好みの明るさを選択し、 をタッチして確定します。

設定表示



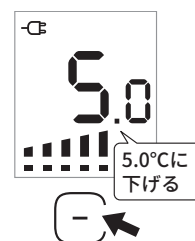
例) 明るさ3

凍結防止機能

ヒーターには周辺の温度が5℃以下になった場合に自動的に運転を開始し、室温の下がりすぎを防ぐ「凍結防止機能」が搭載されています。 をタッチして10℃よりさらに下げます。

※温度表示が「5.0」と表示され、「凍結防止機能」が設定されます。

※凍結防止中は電力レベルが「5」固定になります。



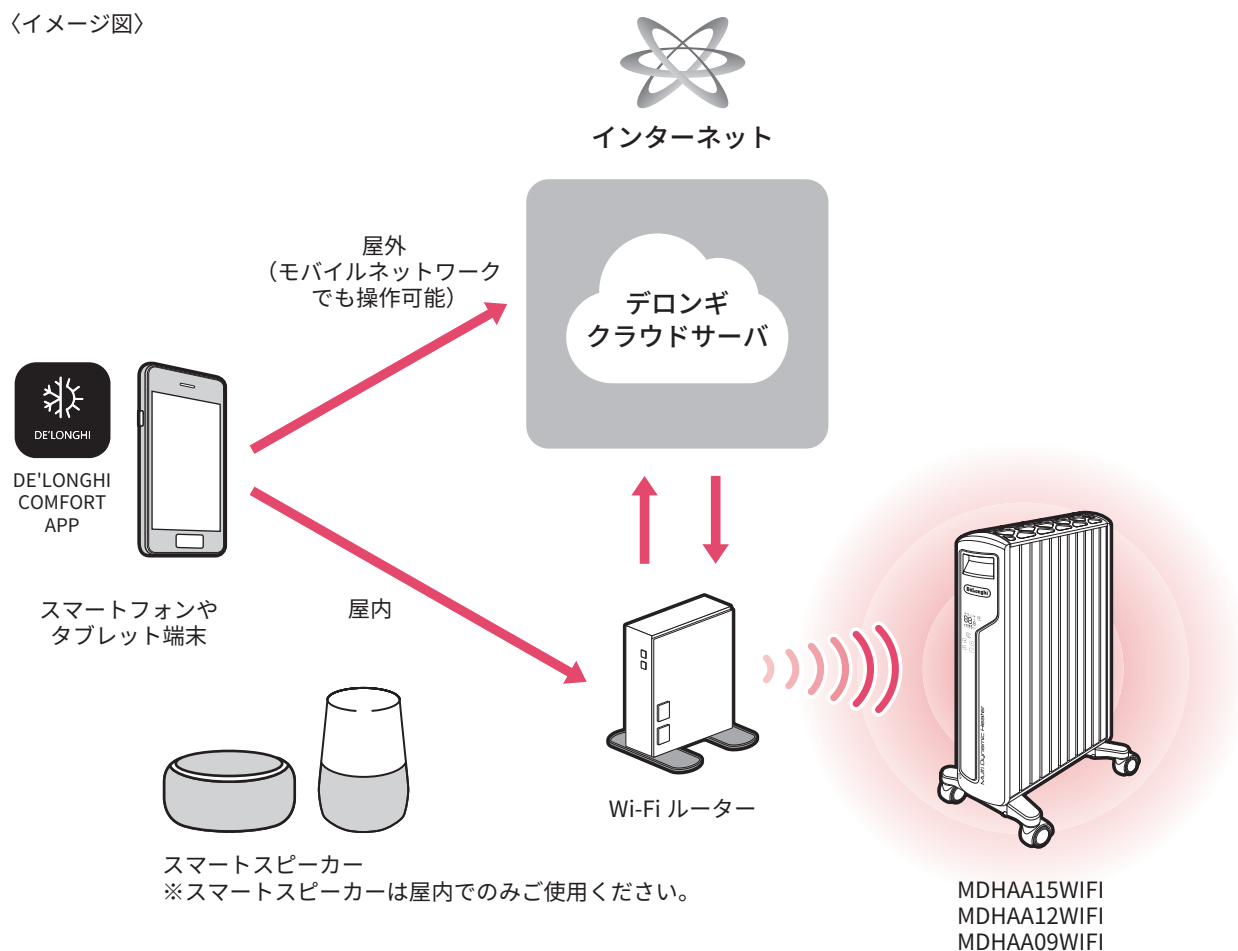
リモート操作する

専用アプリを利用してできること

■スマートフォンやタブレット端末で本機をリモート操作することができます

専用のアプリをインストールしたスマートフォンやタブレット端末などを使って、家の中や外出先から本機をリモート操作することができます。

〈イメージ図〉



■専用アプリで使える主な機能

- 暖房運転の開始 / 停止
- 電力レベルの設定
- 温度の設定
- タイマー機能 (スケジュール運転) *
- 睡眠時のスケジュール設定 (マイスリープ機能) *
- GPS 機能 *

* 本体操作では利用できません。

詳しい使用方法及び対応 OS、スマートスピーカー対応機種については下記をご確認ください。

<https://www.delonghi.co.jp/products/detail/id/592>



※ MDHAA15WIFI の製品ページですが、MDHAA12WIFI、MDH09WIFI のアプリ初期設定マニュアル、アプリ使い方マニュアル、対応 OS も同じ内容です。

※ 対応機種：iOS、Android 端末

リモート操作する

■リモート操作に必要なもの

スマートフォンやタブレット端末



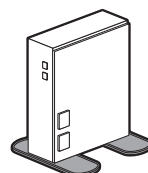
※対応機種：iOS、Android™端末

※対応OS：詳しくは下記URLをご確認ください。

<https://www.delonghi.co.jp/products/detail/id/592>

※専用アプリ：「DE'LONGHI COMFORT APP」を無料ダウンロードしてください。

Wi-Fiルーター



※インターネット環境と、Wi-Fiのネットワーク環境が必要です。

初期接続をする

インターネット環境と、Wi-Fiのネットワーク環境が必要です。

■専用アプリをダウンロードし、インストールする

「DE'LONGHI COMFORT APP」と検索し、専用アプリをダウンロードし、インストールしてください。

※アプリは無料です。ただし、アプリのダウンロードやサービスのご利用には、別途通信料がかかります。



iOSの場合



Androidの場合



■アプリを起動し、本機とスマートフォンなどの端末を接続する (初回のみペアリング)

※本機の最大通信距離は約10mです。本機と端末の間に障害物がない状態で行ってください。障害物や周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。使用可能距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

- ① 電源プラグをコンセントに差した状態で専用アプリを起動する
- ② ログイン画面が表示されたら、画面の指示に従って登録する
- ③ 本機と接続する

※通信接続の許可を求められたときは、「許可」を選択してください。

詳しい使用方法是 <https://www.delonghi.co.jp/products/detail/id/592> をご確認ください。



※MDHAA15WIFIの製品ページですが、MDHAA12WIFI、MDH09WIFIのアプリ初期設定マニュアル、アプリ使い方マニュアル、対応OSも同じ内容です。

免責事項

第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

リモート操作する



使用上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

■無線 LAN について

- 本機に搭載されている無線 LAN 設備は、日本国内専用です。海外で使用することはできません。
- 本機は、日本国内の電波法に基づく技術基準適合証明を受けた無線 LAN モジュールを内蔵しています。以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・本機を分解／改造すること
 - ・内蔵している無線 LAN モジュールに貼られている証明ラベルをはがすこと
- 本機の無線 LAN は、以下の規格に対応しています。

規格	IEEE 802.11b/g/n
使用周波数帯域	2.4GHz
セキュリティ	WPA-PSK、WPA2-PSK

■無線 LAN に関する注意

- 無線 LAN のデータ転送速度は、通信距離、障害物などの環境条件、電子レンジなどの電波環境要素、ネットワークの使用状況などに影響されます。
- 本機は IEEE 802.11b/g/n の規格に準拠していますが、すべての無線 LAN 機器との接続や通信を保証するものではありません。
- 本機の無線 LAN が使用する周波数帯は 2.4GHz 帯ですが、他の無線機器も同じ周波数帯を使用している場合があります。本機の内蔵無線 LAN をお使いの際は、他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように、以下の注意事項に留意してご使用ください。

本機の無線 LAN が使用する周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）などが運用されています。

無線 LAN を使用する場合は、以下をお読みください。

- 1) 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2) 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本機の無線 LAN の使用を停止してください。
- 3) その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社（24 ページ）へお問い合わせください。

リモート操作する

■セキュリティに関する注意

- 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に無線LAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば壁などの障害物を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗まれる

- ・悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号、個人情報メールなどの通信内容を盗み取られる可能性があります。

不正に侵入される

- ・悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、下記のような行為をされてしまう可能性があります。
 - 1) 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏えい)
 - 2) 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
 - 3) 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
 - 4) コンピュータウィルス等を流してデータやシステムを破壊する(破壊)
- 本来、無線LAN製品はセキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行ってれば製品を使用することで上記のような問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解したうえで、お客様自身の責任においてご使用の無線LAN製品（ルーターなど）のセキュリティに関する設定を行い、本機を使用することをおすすめします。

リモート操作する



安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

■リモート操作に関する注意

宅外からのリモート操作中は、本体の状態や在宅する人など、本体を操作している人が本体周辺の環境を把握できない、また、異常の際にすぐに対処できないなど、予期しない危険な状態になる場合があります。リモート操作をする際には、必ず事前に本体および本体周辺の安全を十分に確認してから操作してください。

本体周辺の人が異常に気付いた時は、直ちに電源プラグを抜き、当社(24ページ参照)へ連絡してください。

- ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップ(たこ足配線)は使用しないこと
- 電源プラグが根元までしっかり差し込まれていること
- 電源プラグやコンセントのほこりが取り除かれていること
- 本体、電源プラグ・コードに異常がないこと
- 電源コードはコードホルダーから解かれていないこと
- 設置場所が適切であること(8ページ参照)
- 使用環境が適切であること(5ページ参照)
- 本体周辺にスプレー缶、燃えやすいもの、液体類がないこと
- 本体に衣類などが覆いかぶされていないこと
- 本体周辺の人や異音、においなど、異常に気付いた時は直ちに電源を切り、電源プラグを抜くこと
- 宅内や本体周辺に人がいることが分かっている場合は、事前にリモート操作することを通知しておくこと
- お子様など、安全の判断ができない人しか宅内(本体周辺)にいないときはリモート操作しないこと
- ペット用に使用しないこと
- 専用アプリをインストールした端末(スマートフォンやタブレット端末など)の管理に十分注意すること

故障かな？

修理をご依頼いただく前に、以下の項目をご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、お求めの販売店または当社(24ページ)までお問い合わせください。

症状	確認すること
電源ボタンを押しても電源が入らない	● 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？ 電源プラグをコンセントに根元までしっかり差し込んでください。ガタツキのあるコンセントは使用しないでください。(21ページ) ● 電源プラグの復帰型温度過昇防止装置が作動していませんか？ 輸送／保管時の環境により復帰型温度過昇防止装置が作動することがあります。(表紙の裏) 使用中に作動した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、当社にご連絡ください。(24ページ) ● チャイルドロックが設定されていませんか？ チャイルドロックを解除してください。(12ページ)
運転電力レベル表示(電力レベル表示下の短い棒)が点灯しない	● 設定温度が低すぎませんか？ 設定温度を上げてください。(10ページ) ● 凍結防止機能(設定温度5℃)になっていませんか？ 設定温度を上げてください。凍結防止機能は、室温が5℃を下回らないと運転を開始しません。設定温度を上げてください。(10ページ)
室内がなかなか暖かにならない	● ドア(出入り口)付近に設置していませんか？ ドア(出入り口)から離れた場所に設置してください。(9ページ) ● ホットカーペットや床暖房の上で使用したり、温度センサー部(通気口)をふさいだりしていませんか？ ホットカーペットや床暖房の上で使用したり、温度センサー部(通気口)をふさがないでください。温度センサーが正しく働きません。(6ページ) ● 電力レベルを「1」または「2」に設定していませんか？ 室外の気温が非常に低いなど部屋の環境によっては、「1」または「2」では暖まりにくい場合があります。電力レベルを強めに設定してください。(11ページ) ● ご使用の環境に対して、設定温度が低すぎませんか？ 室外の気温が非常に低いなど部屋の環境によっては、設定温度を上げてください。(10ページ) ● 凍結防止機能(設定温度5℃)になっていませんか？ 設定温度を上げてください。凍結防止機能は、室温が5℃を下回らないと運転を開始しないので、運転電力レベル表示も点灯しない時間が長くなります。
本体を操作しても、表示が変わらない	● ディスプレイの保護シールが貼られたままになっていませんか？ 保護シールをはがしてください。 ● チャイルドロックが設定されていませんか？ チャイルドロックを解除してください。(12ページ) ● タイマー運転になっていませんか？ (ディスプレイに⌚が表示されている) タイマー運転中は本体操作による設定変更ができません。本体の電源ボタンを押して電源を切ってから再度電源を入れてください。タイマー運転が解除されます。 またはスマートフォンなどからタイマー運転を解除してから本体を操作してください。

暖房運転

その他

故障かな？

故障かな？

	症状	確認すること
電源プラグ	電源プラグ・コードが異常に熱くなる	● 電源プラグ・コードは正しく接続されていますか？ 「電源プラグ・コード、コンセントの定期点検」(21 ページ)に従って、電源プラグ・コード、およびコンセントを点検してください。
リモート操作	本体を操作していないのに設定が変わった	● リモート操作で設定を変更していませんか？ (ディスプレイに ☁ が表示されている) 専用アプリを利用して、スマートフォンなどからリモート操作で設定を変更できます。
	ペアリングをしたのに Wi-Fi が点滅し続けている	● 本機に保存された情報に誤りがあるか、Wi-Fi ネットワークが変更されていませんか？ Wi-Fi の設定を変更する必要があります。Wi-Fi ボタンを操作音が鳴るまで約 15 秒間タッチし続けて、専用アプリから登録をやり直してください。
故障ではありません	使いはじめのにおい	使いはじめは新製品特有のにおいを感じる場合があります。しばらくお使いいただくとにおいはおさまります。
	まれに金属音がする	本体が温まったり、冷めたりする際に発生する音です。異常ではありません。
	運転中かすかに音がする	まれに電子回路から動作音が聞こえる場合があります。異常ではありません。

ディスプレイのエラー表示

エラー表示	原因・対処のしかた
	本体が傾いています。 本体を平らで安定した場所に設置してから、電源を入れ直してください。
	本体の通気口がふさがれていたり、本体が覆われたりしているなどの理由で、温度過昇防止装置が作動しています。 電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えるまでお待ちください。電源を入れ直しても正常に動作しない場合は、当社 (24 ページ) にご相談ください。
	温度センサーの故障です。 直ちに電源プラグをコンセントから抜き、当社 (24 ページ) にご相談ください。
	本機と端末の接続エラーです。 Wi-Fi ボタンを操作音が鳴るまで約 15 秒間タッチし続けて、リセットしてください。(7 ページ)

その他

故障かな？

お手入れ／保管のしかた



- お手入れや保管をする場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行う
- 絶対に水に浸したり、水洗いをしない
- 洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは使用しない

お手入れ

定期的なお手入れ

- 本体および床や壁とのすき間にたまっているゴミやほこりは、掃除機などで必ず取り除いてください。
- コンセントおよび電源プラグに付着しているゴミやほこりは、定期的に掃除機などで必ず取り除いてください。トラッキング現象の防止となります。(22ページ)

本体が汚れたら

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。

保管のしかた

1 保管前のお手入れ

このページの「お手入れ」に従って、本体の汚れやたまったほこりを取り除いてください。

2 プラグの収納

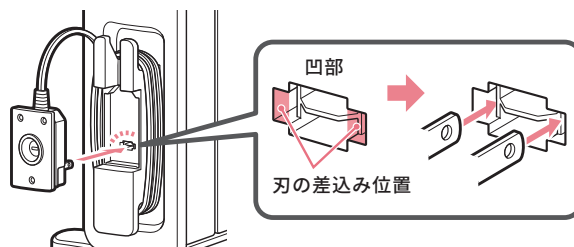
保管する前に、次の手順で電源プラグを収納します。

① 電源コードをコードホルダーに軽く巻く



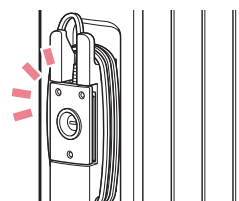
電源コードをコードホルダーに強く巻かない
(火災の原因)

② 電源プラグの刃を凹部の両端に 平行に合わせ、真っすぐ差し込む



③ 電源プラグを凹部の奥までしっかりと差し込む

電源プラグは収納部に正しく差し込んでください。
無理に差し込むと故障するおそれがあります。



3 保管するときのご注意

- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 箱に収納しない場合は、必ずキャスターを開いた状態で保管してください。
- 本体を移動するときは、取っ手を持ちゆっくりと引いてください。
- 階段や段差を移動するときは、本体底部を持ってください。
※ 持つときは必ず手袋などで手を保護してください。



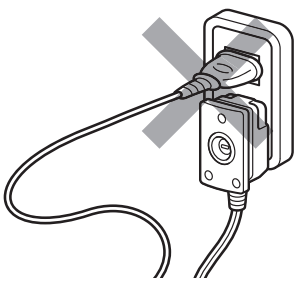
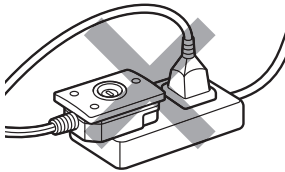
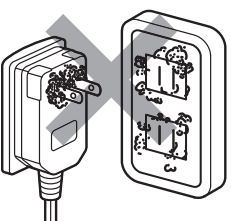
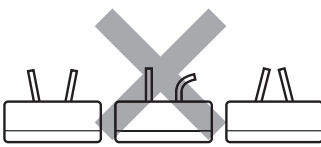
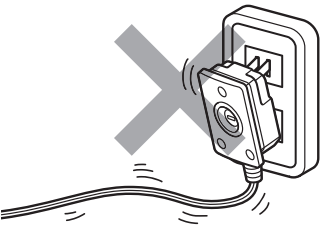
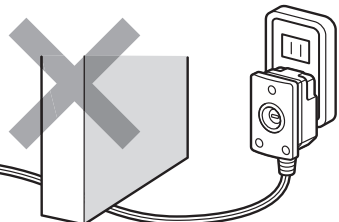
保管の際は、逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かない

電源プラグ・コード、コンセントの定期点検

電源プラグ・コード、コンセントの安全チェックシート

近年、「トラッキング現象」や「電源プラグとコンセントの接触不良」を原因とする火災事故が増加の傾向にあります。

製品を正しく、安全にお使いいただくために、下記に従って、電源プラグ、電源コード、およびコンセントを定期的に点検してください。

チェックポイント		詳細説明
☐ コンセントを他の機器と併用していませんか？		定格15A（100V）のコンセントをお使いください。コンセントが2口の場合は、片方を空けて単独でお使いください。 他の器具と併用して容量がオーバーすると異常発熱し、火災の原因になります。
☐ 延長コードやテーブルタップを使っていませんか？		延長コードやテーブルタップなどは使用しないでください。電源はコンセントから直接お取りください。 コンセントや電源プラグ・コードが異常発熱し、火災の原因になります。
☐ 電源プラグやコンセントにほこりがついていませんか？		付着したほこりは、掃除機などで定期的に取り除いてください。 電源プラグとコンセントの接触面にほこりが付着し、湿気が加わると、トラッキング現象が発生し、火災の原因になります。
☐ 電源プラグ(刃)が変形していませんか？		電源プラグ(刃)が変形した場合は、販売店または当社にプラグの交換をご依頼ください。 曲がった刃は、接触不良時の発熱により、コンセントの刃受けを変形させる原因になります。 (曲がった刃をペンチなどで手直ししないでください。)
☐ コンセントにガタツキはありませんか？		コンセントにガタツキや緩みのある場合は、お近くの電気店に修理をご依頼ください。 緩みのあるコンセントを使用すると、電源プラグ(刃)と十分な接触が得られず異常発熱し、火災の原因になります。
☐ 電源コードに重い物が載っていませんか？		電源コードに重いものを載せたり、壁に押し付けたりしないでください。 電源コードに無理な力が加わると、電源コードが断線し、火災や感電の原因になります。

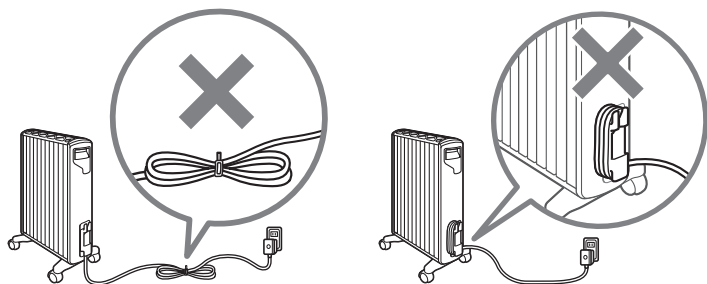
その他

電源プラグ・コード、コンセントの定期点検

電源プラグ・コード、コンセントの定期点検

チェックポイント

- 電源コードを束ねたり、コードホルダーに巻いたまま使っていないですか？

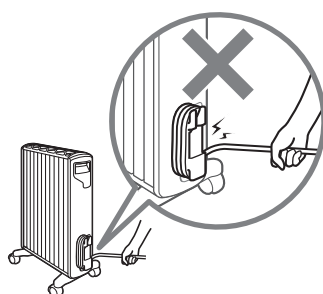


詳細説明

余った電源コードは残さずコードホルダーから解き、伸ばしたままお使いください。

電源コードを束ねたり、コードホルダーに巻いたままお使いになると、異常発熱し、火災の原因になります。

- 電源コードをコードホルダーに強く巻いていませんか？



収納するときは、電源コードをコードホルダーに強く巻きつけないでください。

電源コードを強く巻きつけると、コードの接続部が傷み、火災や感電の原因になります。

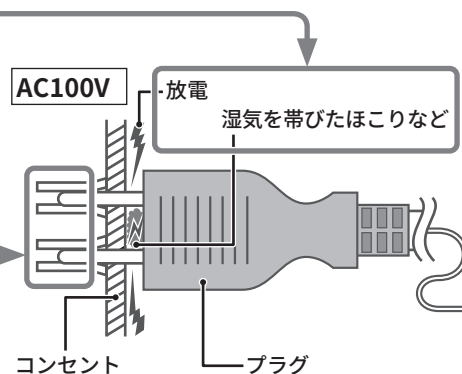
■トラッキング現象とは

火災の原因となる自然現象です。コンセント周りにほこりがたまると、そこに湿気が加わることで異常電流が流れやすくなります。異常電流が長い時間続くと、電源プラグやコンセントの表面が炭化し、最終的に放電現象と火災が発生します。これがトラッキング現象です。

トラッキング現象は、定期的なお手入れで防ぐことができます。

■電源プラグとコンセントの接触不良に注意しましょう

コンセントに電源プラグが根元までしっかり差し込まれていないと、刃受けとプラグの刃が不十分な接触のために、コンセントが発熱します。この状態のまま使用し続けるとコンセントやプラグが熱で変形、変質して、さらに発熱し、火災の原因になります。



仕 様

型式番号		MDHAA15WIFI	MDHAA12WIFI	MDHAA09WIFI
定格	電圧／周波数	交流 100V ／ 50-60Hz		
	消費電力	1500 W	1200 W	900 W
外形寸法(約)		長さ 49.5 cm × 幅 27.5 cm × 高さ 66.5 cm	長さ 42.0 cm × 幅 27.5 cm × 高さ 66.5 cm	長さ 35.5 cm × 幅 27.5 cm × 高さ 66.5 cm
質量(約)		12.5 kg	10 kg	8.5 kg
広さの目安		10畳※1 ～ 13畳※2	8畳※1 ～ 10畳※2	6畳※1 ～ 8畳※2
安全装置		転倒時自動電源遮断装置、温度過昇防止装置(本体内) 復帰型温度過昇防止装置(電源プラグ内)		
タイマー		専用アプリで利用可能		

※1 日本電機工業会自主基準による

※2 デロンギ自社実験による。試験条件：新省エネルギー基準 外気温5℃、5面接触

■技適マークについて

本機に内蔵の無線LANモジュールは、技適マークを取得しています。

■商標について

- Apple、Appleロゴ、iPhone、Apple Watchは米国およびその他の国におけるApple Inc.の登録商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- Android、Google Play およびGoogle Play ロゴはGoogle LLCの商標です。
- その他記載されている会社名、商品名は、各社の商標、登録商標です。

アフターサービス

使用中に異常(★)が生じた場合：

直ちに電源を切り(＝運転中止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「故障かな？」(18～19ページ)で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社(下記)にご相談ください。

★以下のような場合には、点検および修理が必要です

- 使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- 電源プラグ・コードが変形、破損している
- 本体前面パネルや放熱部に、水などの液体をこぼした
- 本体に強い衝撃(転倒・落下)を与えた
- 取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

万一故障した場合：

保証書に記載されている販売店に ①お買い上げ日 ②製品名称と型式番号 ③故障の状況をご連絡のうえ、修理をご依頼ください。

- 修理品の送付先については、お電話またはホームページ(下記)でご確認ください。
- 修理品を送付する場合は、必ず故障の状況を記したメモと、保証期間内の場合は保証書を同封してください。
- 本製品のメーカー保証範囲は保証規定によります。保証期間を経過した製品についても、お問い合わせや有償での修理をうけたまわります。(補修用性能部品保有期間内)

補修用性能部品の保有期間について：

当社では、この製品の補修用性能部品について、最終輸入日を起点に6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

まごころ点検について：



保証期間(3年)が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検(お預かり)をおすすめします。点検の依頼および料金などにつきましては、下記までお問い合わせください。

再資源化システムについて：

ご不要になった製品は、当社が費用を負担し、素材ごとに分別、再資源化いたします。

製品のお預かり方法など、再資源化のご相談は、下記までご連絡ください。



- **送料について：**送料はお客様のご負担(元払い)となります。あらかじめご了承ください。
- **梱包について：**製品の入っていた箱(元箱)に入れるか、エアークッションにくるんでください。
- ※ 修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。
- ※ 送付先については、お電話またはホームページ(下記)でご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、お求めの販売店または下記にお問い合わせください。

デロンギ お客様サポートセンター (受付時間：土、日、祝日を除く毎日 9:30 ～ 18:00)

Tel. 0120-804-280 / Fax. 0120-956-020

〒201-0012 東京都狛江市中和泉5-33-37

ホームページでのお問い合わせ(URL) <https://www.delonghi.co.jp/inquiry/>

× 毛

保証書

ご販売店さまへ、※印欄は必ずご記入ください。 **持 込 修 理**

製品名：デロンギ マルチダイナミックヒーター Wi-Fiモデル			
型式番号：MDHAA15WIFI / MDHAA12WIFI / MDHAA09WIFI			
お 客 様	ご氏名：	様	TEL： — —
	ご住所：〒		
販 売 店	※店名・住所・TEL：		
			印
※お買い上げ日：		年 月 日	保証期間：お買い上げ日より3年間 保証対象：本体

保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行うことをお約束するものです。

- お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、本書と購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）をご準備の上、下記までご連絡ください。お買い上げ販売店独自の保証やその他サービスがある場合は販売店へご相談ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入しているお買い上げの販売店にご相談ができない場合には、下記に直接ご連絡ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。
 - イ. 本書のご提示がない場合
 - ロ. 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷
 - ハ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷
 - ニ. 火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷
 - ホ. 一般家庭用以外（例えば業務用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障・損傷
 - ヘ. 購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）が無く、お買い上げ日、お客様名、販売店名が確認できない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

- ト. 消耗品が損耗し、取り替えが必要な場合
 - チ. 付属品および本体から取り外せる部品の破損・紛失
- 修理に際して代替部品に交換する場合があります。この場合、交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
 - 故障状態、その他の事情により、修理に代えて同機種での製品交換、または同等能力を有する他機種への交換となる場合があります。
 - 故障によりお買い上げの製品が使用できないことによって生じた損害については補償いたしません。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
 - 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
 - この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記にお問い合わせください。
 - 補修用性能部品の保有期間につきましては取扱説明書「アフターサービス」をご覧ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

デロンギ・ジャパン株式会社

TEL.0120-804-280 〒 201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

ホームページ <http://www.delonghi.co.jp>

※この取扱説明書に記載されている連絡先の名称、電話番号、所在地、営業時間とは変更することがありますのでご了承ください。



DHI-220351
5725310414